



発行者：雲興山 龍谷寺 住職 成田隆真



龍谷寺のお正月

心月だより

発刊にあたって

龍谷寺住職 成田隆真

新しい年を迎え、心新たに過ごしたのとお慶び申し上げます。昨年から東日本大震災の復興という大事業が国、そして国民1人ひとりに課せられ、「手を取り合おう！絆」という言葉があちこちで聞かれました。

日本のように成熟し、問題はあるものの幸せに見えた社会が自然の猛威の前にもろく崩れ去ることに気づき、今一度、人と人との絆の大切さに目覚めた1年でした。

龍谷寺檀信徒の皆様にも義援金などでご協力を賜り、まことにありがとうございます。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、この度、「心月だより」を発刊することとなりました。「心月」とは、龍谷寺のご開山、心月宋光大和尚様の名前から頂きました。龍谷寺は今から500年余前、心月宋光大和尚様によつて開山されました。以来、38世の現世代に至るまで多くの出来事

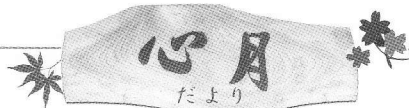
を乗り越え、今に至っています。

いつの世も人として生きることの素晴らしさに気づき、感謝の心を持つて精進していくことを伝えていくことが寺の大きな役目だと思います。人の一生は、長いようで短いものです。「いかに生きるか」は、「いかに死ぬか」につながります。

日々の暮らしのなかで、先祖を敬い、人と人との出会いを大切にすることで、よりよい人生をおくる事ができると思います。

今年も皆様方にとって、家族が健康で明るい年になるよう、お祈り申し上げます。





曹洞宗の大本山

福井の永平寺(高祖道元禪師ご開山)

横浜の總持寺(太祖瑩山禪師ご開山)

本尊 曹洞宗はお釈迦様を

ご本尊として仰ぎます。

本尊唱名

南無釈迦牟尼仏

教義

私たちはみな仏の子であり、生まれながらに仏心具备しています。しかし、それに気づかず、我がまま勝手な生活をし、苦しみのもとを作っています。一度、仏様に懺悔をし、帰依するならば、心が落ち着き、おのずから生活が調えられて、明るくなり、社会のお役に立つことを喜び、またどんな苦難にも耐えて、生き抜こうとする信念が生まれます。そこに生きがいと幸福とを発見するのが曹洞宗の教えです。

お経

修証義 般若心経 観音経 寿量品 等の諸経典を読誦します。



大本山 總持寺



大本山 永平寺

龍谷寺本尊
釈迦無尼佛

曹洞宗 龍谷寺のはなし

曹洞宗は、お釈迦さまが成道され、その教えが説かれ、お弟子様たちに代々連綿と受け継がれ、インドから中国、そして日本へと伝えられてきたものです。曹洞宗のご本尊はお釈迦さまです。曹洞宗は、お釈迦さまから相続されてきた「正伝の仏法(しょうでんのぶつぽう)」、つまり坐禅の教えを抛りどころにしており、坐禅の実践で得る身と心のやすらぎがそのまま「仏の姿」であると自覚することにあります。

道元禪師は、仏道を求めて宋に渡り、修行に励まれて「正伝の仏法」を相続。仏法の境地と実践を伝えようと越前に大仏寺(後の永平寺)を建立しました。また、瑩山(けいざん)禪師は、永平寺で修行を始め、能登門前町に、總持寺を建立されました。その門下には優れた人材が集まるようになり、曹洞宗が発展する基礎

が築かれました。道元禪師を「高祖(こうそ)」、瑩山禪師を「太祖(たいそ)」と仰ぎ、お二人の祖師を「両祖(りょうそ)」とし、師を「二仏両祖(いちふりょうそ)」としてお祀りし、お慕い申し上げ、信仰のまこととを奉げています。

現在では、全国に1万2千カ寺の寺院と800万人の檀信徒がいます。

龍谷寺は1520年ごろに心月宋光大和尚によって、開山されました。現在38世法覚隆真大和尚に至るまで約500年にわたり、お釈迦さまの教えを受け継いでいます。

また38世法覚隆真大和尚は、お釈迦さまから85代目の法を継承されています。



龍谷寺の鐘つき堂



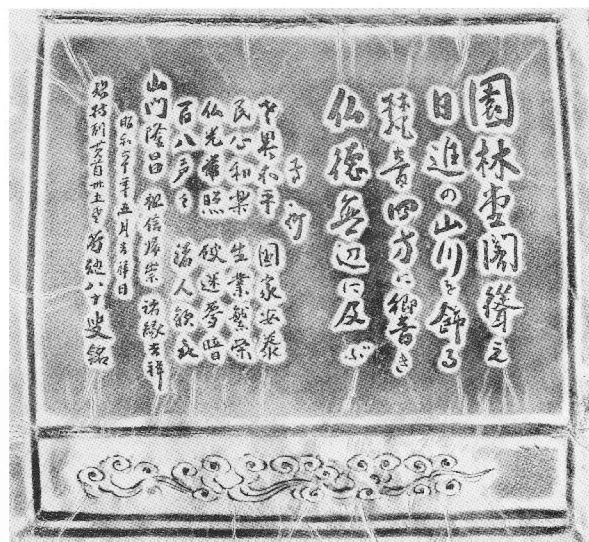
龍谷寺で出合う言葉

人は日々忙しく暮らしている時、心の不安やいらだちを感じる事があります。そんな時「言葉」はその不安やいらだちを受け止め、支えになってくれます。また「静けさ」や自然の景色も優しく心を包み、人々に癒しの心を与えてくれます。お寺に行くと「元気が出る」「癒される」という環境を心がけています。山門の上にある鐘楼にきざんである「言葉」をご紹介します。

これは龍谷寺三十六世成田芳髓大和尚の鐘楼に刻まれた言葉です。

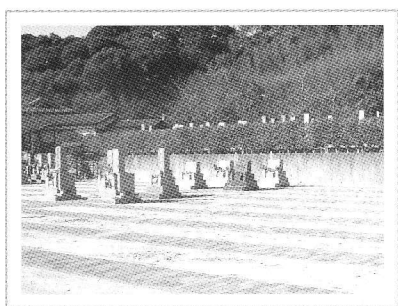
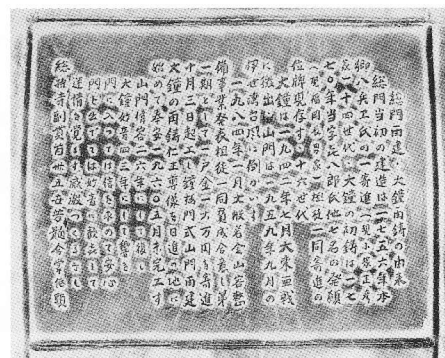
専祈
世かいへいわ 国家安泰
世界平和
みんしんわく 生業繁栄
民心和楽
ぶつこうじょう 破迷夢暗
仏光常照
ひやくはちえい 諸人歓喜
百八声々
さんもんりゅう 山門隆昌
山門隆昌
昭和六十年五月吉祥日
総持副貫首三十五世芳髓八十叟銘

えんりんどうかくき
園林堂閣聳え
にうしん 日進の山川を飾る
ばんおん 梵音四方に響き
ぶつとくむ 仏徳無辺に及ぶ



大鐘の拓版

総門再建・大鐘再鑄の由来
総門当初の建造は二七五六年本郷八兵衛氏の一寄進（現小塚正彦家十四世代・大鐘の初鑄は二七七〇年当家庭八郎氏他七名の発願（現福岡辰男家）祖徒一同寄進の位牌現存す・十六世代大鐘は一九四二年七月大東亜戦に徴出・山門は一九五九年九月の伊勢湾台風倒壊す
一九八四年一月大般若会山谷整備事業発表表祖徒一同賛成合意し第一期として二戸金十六万円を寄進十月三日起工し鐘樓門式山門再建大鐘の再鑄仁王尊像を日進の地に始めて奉安一九六〇年五月末完工す山門偉容二六六年にして復し大鐘妙音四三三年にして響き門に入つては信を求めて安心門を出でては妙音に歓喜して迷情を覚ます。感激つくるなし
總持寺副貫首三十五世芳髓合掌低頭



- 第三ブロック
- 電話 (0561)72-5454
 - 定休日 毎週水・木曜日
 - 受付時間 午前10:00～午後4:00

日進桜楓霊苑

につしんおうふうれいえん

名古屋市東部、日進市の中心に「日進桜楓（おうふう）霊苑」があります。小高い緑の丘陵に建つ霊苑は、春は桜、秋には楓が舞うところから「日進桜楓霊苑」と名づけられました。

お寺となる龍谷寺は、開創500年を迎えるという曹洞宗の名刹。開基は、藤原則武と伝えられ、その後三州篠原永沢寺3世心月宋光大和尚が三州の城主・渡辺守綱の助力を得て、伽藍を整備し、当代の住職、成田隆真で38世となります。

当寺の36世大環正應得道芳髓大和尚は、曹洞宗管長と横浜市鶴見にある曹洞宗大本山總持寺の貫首を務めました。

すでに約800基のお墓が建立され、南面一列タイプの新区画「第三ブロック」が平成23年2月より好評発売中です。

お墓のクリーニング
いたします

平成8年より分譲開始いたしました「日進桜楓霊苑」。お墓の汚れが気になる方、文字のペイントが気になる方はご相談下さい。

例えば

- 正面の【〇〇家之墓】のペイントを塗り替えたい
 - 裏面の建立者の名前が見えにくい
 - 墓の水垢が気になる
- など ご相談下されば、お見積いたします。



平成二十四年 龍谷寺 年間行事のごあんない

一月 一日(日)	元旦祈禱
二日(月)	年始受付、平成24年法事受付
三日(火)	
九日(祝・月)	成人の日 午前10時から大般若祈祷会、獅子舞の奉納その他
二月 十一日(土)	開山忌
十五日(水)	涅槃会(ねはんえ・おしゃか様が亡くなった日)
三月 二十二日(火)	春分の日
四月 十四日(土)	午前10時から春彼岸会法要
二十二日(日)	第13回芳桜茶会
七月 十四日(土)	藤島弘法
八月 十二日(日)	日東夏祭り
十三日(月)	盆棚経
十四日(火)	
十五日(水)	盆大施餓鬼会
九月 二十二日(土)	秋分の日
十月 二十七日(土)	秋彼岸会
十一月 二十四日(土)	日東バザー
十二月 八日(土)	秋の芳桜茶会
三十一日(土)	成道会(お釈迦様が悟りを開いた日)
	除夜の鐘打鐘 午前0時開始



龍谷寺の大晦日



平成二十四年度
【梅花流全国奉詠大会】開催

○期日 平成二十四年 五月二十九日(火)から
五月三十一日(木)
○会場 幕張メッセ

龍谷寺では日本文化を継続していこうと文化活動を行っています。皆様のご参加をお待ちしています。

◎芳桜書道会

毎週土曜日 午前10時から正午
午後2時から4時

本堂下客殿にて

月謝大人三千元 小人二千五百円

〔指導〕安藤霜秋先生

◎写経会

毎月第三金曜日 午後1時から3時
午後2時から4時

本堂下客殿にて

志納料千円

◎梅花流詠讃歌を歌おう

毎月一回 午後1時から3時
新客殿にて

〔指導〕富尾智恵先生

◎子ども日本舞踊教室

月二回 日東保育園にて
会費一回千円

〔指導〕花柳東風香先生

◎芳桜茶道会

毎週土曜日 午後1時から5時
心月庵茶室於

〔指導〕表千家恒川宗裕先生

詳しくは龍谷寺までお問い合わせください。

☎ 0561(72)0012

- ・大般若祈祷会のご案内
- ・日本文化ワークショップ in 龍谷寺



【年月日】 平成二十四年一月九日(祝・月)
 【時間】 午前十時
 【場所】 龍谷寺



平成23年度 大般若祈祷会の様子

新春 大般若祈祷会のご案内

今年も二年の無病息災を祈る大般若祈祷会を左記の様に厳修します。
 皆様のご来寺をお待ちしております。

今年法要終了後「獅子舞と南京玉すだれの奉納」があります。
 又、恒例の無病息災を願って「大根炊き」「甘酒」を振る舞います。

日本文化ワークショップ in 龍谷寺



を超えた一つの世界を作り上げるため、異なる文化間の交流を推進したり、世界共通の問題を分かち合う活動を行っています。

龍谷寺の茶室心月庵で恒川宗裕先生のご指導のもと、お菓子と薄茶を頂き、続いて寺の周りで採った草花で一瓶の花を生けました。

そして本堂では坐禅に取り組み、緊張感をもって静かな時を過しました。最後には浴衣に着がえ、日本古曲の「さくらさくら」の曲にあわせ扇をもって日本舞踊を体験しました。その後、鐘つき堂に登り、日進市の景色をながめ、誓願をもって生きることを祈りながら打鐘しました。

参加者の皆さんは、とても喜ばれ、晩秋の一日、日本文化に触れる事で日本の思い出となった事でしょう。

もみじの葉が美しく色づきはじめた晩秋の一日、アメリカのニューヨークとイギリスから日本文化の体験学習の為に三名の方々が来寺されました。彼女たちはアメリカのボストンに本部を置くユナイテッドプラネットから派遣されました。ユナイテッドプラネットは、国境という概念

** 境内散策 **

春は 待ち遠しいほど
ゆっくり ゆっくり。

第14回 芳桜茶会

第14回 「芳桜茶会」のおしらせ

平成11年より始めた芳桜茶会も14回目となりました。

龍谷寺境内で、一服のお茶をお気軽にお楽しみいただきたいと思います。

皆様のご来寺をお待ちしております。

【日 時】平成24年 4月 14日(土) 午前10時～午後3時

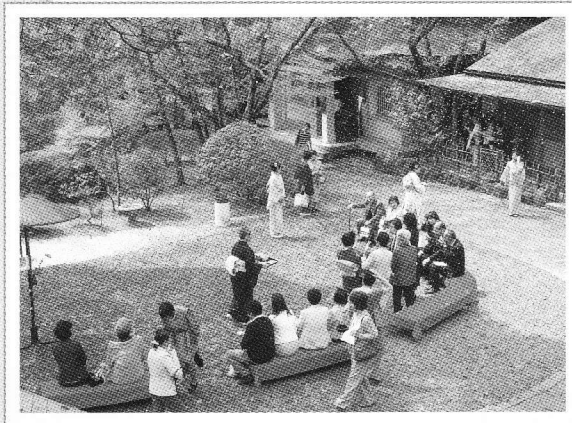
【場 所】龍谷寺

【お茶券】前売券は2月頃より準備いたします。

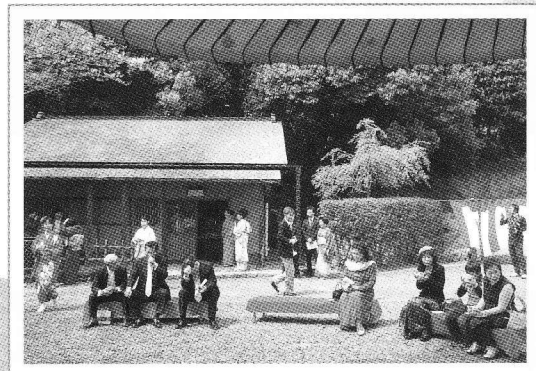
一席 500円

二席 800円

※当日券は一席券のみ販売



第13回 芳桜茶会の様子



今年も残り少なくなりました。皆様ご無事にご越年の事と存じます。大震災が日本を襲い、大変な年となり復興の足音は小さく、被災された方々の心を想うと胸が痛くなります。しかし人の力は確実に二歩一歩前を向いて歩んでいきます。今まで余りにも恵まれていた日本でした。また失った物も莫大ではあります。そこから何が大切か気づき、皆の力で復興に取り組んでいかなくてはなりません。「絆」の心を一人一人がしっかり持ち、新しい年も一歩一歩、歩んでいきましょう。

「心月だより」第一号も不行き届きの所も多々あるかと想いますが、お寺と檀徒として霊園の皆様をつなぐ便りとして今後も発行してまいります。

よろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

(成田隆真)

発行 雲興山 龍谷寺
住所 〒470-0102
愛知県日進市藤島町寺下甲29
TEL (0561) 72-0012
FAX (0561) 72-0232
発行者 成田隆真

後記

編集